

技術・家庭科（家庭分野）学習指導案

授業者 山本 裕子

(1) 題材名 「 これからのわたしと家族との関係 」 現A (2) イ

(2) 題材について

○題材観・・・本題材では、現行学習指導要領「A家族・家庭と子どもの成長」の「(2)イ これからの自分と家族とのかかわりに関心を持ち、家族関係をよりよくする方法を考えること」から構成している。

現在の社会は、少子高齢化の進展や人工知能（AI）の急激な発達により、社会に大きな変化を与えている。それは、人と人とのコミュニケーションにおいても当てはまり、近い将来、感情をコントロールするロボットが現れるかもしれないとまで言われている。しかし、そのような社会になったとしても、人間にしかできないこともある。その一つに「家族とのかかわり」があると考え。家族との支え合い・協力があって今の生活ができていないことを忘れてはならない。

本校生徒の実態として、小学校と中学校で家族とのかかわりに対してどのような変化があるのか、また保護者が考える家族とのかかわり方と生徒の考えとの違いを知るため、家族アンケートをとったところ、小学校の時に比べて時間的な忙しさがあり、家族と顔を合わせるものが減ってきている現状にあることが分かった。また本校生徒は、遠方から通っていたり、学校帰りに塾に行く生徒もおり、家族と一緒に話をする時間も減ってきていることが分かった。そのような環境の中で、今の自分自身に何ができるのか、何ができそうなのかを考えることは、よりよい家族関係を築くために重要なことであると考え。

そこで本題材では、本校生徒の実態と中学生の時期だからこそ、自らでできる課題を見つけ実践し、よりよい家族関係を築くための大切さを考えさせたい。

(3) 《題材の評価規準》

生活や技術への 関心・意欲・態度	生活を工夫し 創造する能力	生活の技能	生活や技術についての 知識・理解
家庭と家族関係について関心をもって学習活動に取り組み、家庭生活をよりよくしようとしている。	家庭と家族関係について課題を見付け、その解決を目指して工夫している。		家庭や家族の基本的な機能、家庭生活と地域との関わりについて理解している。

(4) 各時間における指導と評価の計画（全13時間）

時間数	学習内容	評価規準			
		生活や技術への 関心・意欲・態度	生活を工夫し 創造する能力	生活の技能	生活や技術についての 知識・理解
1	自分の成長を振り返ろう ～家庭科ガイダンス～				自分自身の成長を振り返り、多くの人の支えがあって生きていることを理解している。
2	いろいろな家族について知ろう ～アニメを通して考えてみよう～	アニメを通して、家族の形態とその変化について考え、関心をもって取り組もうとしている。			家族には核家族、大家族があるが、暮らし方の多様化に合わせて様々な形態があることを理解している。

3	家庭のはたらきについて ～今の自分たちにできることは～	家庭のはたらきについて、関心をもって取り組もうとしている。	家庭のはたらきについて学んだことを、これからの生活に生かそうと工夫している。		家庭のはたらきについて理解している。
4	家庭の仕事を支える社会	家庭生活を支える仕事について、どのようなものがあるか考えようとしている。			家庭のはたらきと社会のつながりについて理解している。
5	自分と家族との関係について ～ロールプレイングを通してよりよい家族関係を考えてみよう～	家族とのかかわりについて、関心をもって取り組もうとしている。	よりよい家族関係を築くためにはどうしたらよいか考え、これからの生活に生かそうと工夫している。		
6	自分たちの地域を知ろう ～様々な視点から考えてみよう～	自分たちの地域について関心を持ち、地域の人々とのかかわりについて考えようとしている。			地域の人々とのつながりの大切さを理解している。
7 8	自分たちの地域を発表しよう	仲間の発表を聞いて、山梨県の多くの地域について関心をもって取り組もうとしている。	多くの地域で行われている取り組みや活動、仲間の発表を通して、これからの自分たちの地域に生かそうと工夫している。		
9 10	高齢者を理解しよう ～高齢者疑似体験を通して～	高齢者に対する関わり方に関心をもって取り組もうとしている。	高齢者疑似体験を通して高齢者とどのように関わっていくとよいか考え、生かそうと工夫している。		高齢者の身体的な特徴を理解している。
11 12	よりよい家族関係を築いていくために① ～自分自身のライフデザインを考え、今の自分たちにできることを考えよう～	・自分自身のライフデザインを考え、今の自分たちにできることを意欲的に考えようとしている。 ・年代ごとに起こりそうな課題を考え、意欲的に調べ、まとめようとしている。			自分自身の一生を考え、これからの家族形態の変化と生活していく上での問題や課題を理解している。
13 本 時	よりよい家族関係を築いていくために③ ～家族からのメッセージを読んで家族のために自分自身ができることを再検討しよう～	家族からのメッセージを読んで、家族のために自分自身ができることを意欲的に考えようとしている。	家族からのメッセージを読んで、よりよい家族関係を築くためにどうしたらよいか考え、生かそうと工夫している。		

14	〈生活の課題と実践〉 家族のために今の自分たちにできることを考え、実践しよう	家族からのメッセージから、家族のためにし てあげたいことを意欲 的に考えようとしてい る。	自らで課題を見つけ、 これからよりよい家族 関係を築くためにどう したらよいか考え、生 かそうと工夫している 。		
----	-------------------------------------------	--------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------	--	--

(5) 本時における目指すべき資質・能力

知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう姿勢
今まで家族・家庭生活で学習した知識・技能を見直す。	今まで家族・家庭生活で学習した知識・技能を活用して、これからの生活で必要となる家族との協力・協働について考え、改善する。	家族の思いを理解し、将来にわたってよりよい家族関係が築けるよう生活を工夫しようとしている。

(6) 学習内容 (11・12/13 時間)

段階	時間	学習活動	教師の指導・支援	備考
導入	5	○今まで学習したことを確認する。 ○これから「自分自身のライフデザイン」を考える学習を行うことを伝える。	○これからの将来を見据えて、前向きに考えられるように声かけをする。	
展開		「自分自身のライフデザインを考え、今の自分たちにできることを考えよう」		ワークシート
	20	○自分自身のことについて考える。 自分自身のライフデザインを考え、ワークシートに記入する。	○書けていない生徒には、年代ごとで今現在考えている夢や将来に対して想像していることを書くよう声かけをする。	課題提示資料
	15	○家族のことについて考える。 家族のこれからのことも想像しながらワークシートに書き入れ、これからの生活でどんなことが起こり得そうかを考える。	○書けていない生徒には、年代ごと例を提示しながら行えるようにする。	
	15	○年代別で起こりそうな課題を考える。 20代(10年後)…大学・就職 30代(20年後)…子育て環境・育休・子どもの事故・虐待・待機児童問題 40代(30年後)…収入と所得・介護(介護施設) 50代(40年後)…労働者・労働時間・働き方改革 60代(50年後)…退職・定年後の生活 70代(60年後)…高齢化社会・高齢者の詐欺・高齢者事故 80代(70年後)…高齢化社会・高齢者の詐欺・高齢者事故	○子育てをしたり介護をしたりと、自分自身のことだけではなく家族形態の変化に気づくことができるよう指導する。 ○今以上に家族との関わりが減ってしまう可能性があることを伝える。	
	30	○5人班になり、話し合い活動をする。 年代別にどのようなかわりがあるか、どんな関係を作っていかなくてはならないかを考える。	○班で積極的に話し合い活動を行うよう指導する。	

	10	○今の自分自身の生活を振り返る。 一日の生活を振り返り、家族のために今の自分たちにできることを考える。	○自分自身の生活を見つめ直しながら、今できることを考えられるよう支援していく。	
まとめ	5	○宿題として、調べたことを画用紙1枚にまとめてく るよう伝える。 ○次回の学習内容として、今の自分たちにできること を实践するための計画を立てることを伝える。		

本時の授業

(1) 日時 平成30年6月30日(土)

(2) 場所 1年3組 教室

(3) 学習内容 「よりよい家族関係を築いていくために② ～家族からのメッセージを読んで
家族のために自分自身ができることを再検討しよう～」

(4) 本時の目標

- ・家族からのメッセージを読んで、家族のために自分自身ができることを意欲的に考えている。
- ・家族からのメッセージを読んで、よりよい家族関係を築くための工夫を考えている。

(5) 評価方法

学習活動	評価 規 準	学習活動における 具体的な評価規 準	評価 資 料	評価規準		
				A	B	C
よりよい家族関係を築いて いくために② ～家族からのメッセージ を読んで家族のために自 分自身ができることを再 検討しよう～	創意 工夫	家族からのメッ セージを読んで、家族のため に自分自身ができることを考 え、将来にわた って家族関係を よりよくする方 法を考えてい る。	ワー クシ ート	家族からのメ ッセージと学 んだ知識を生 かして、家族の ために自分自 身ができるこ とを考え、これ からよりよい 家族関係を築 くための工夫 を考えている。	家族のために 自分自身にで きることを考 えている。	今の自分自身に できることを考 えている。

(6) 本時の授業

段階	時間	学習活動	教師の指導・支援	備考
導入	5	○前時に考えた今の自分たちにできることを確認して おく。		
展開	15	○家族からのメッセージを読む。 家族からのメッセージを読んで、家族の思いを理解し た上で、家族のために今の自分たちにできることを再 検討する。	○前時に考えた今の自分たちにできることを、家 族のためにできることに視点を変えて考えるよ う支援する。	ワー クシ ート 家族か らのメ ッセー ジ 付箋

		<p>〈家族アンケート〉</p> <p>①家族との関わりの中で、小学生の頃と今とはどのような変化や違いが見られていますか？</p> <p>②家族との関わりの中で今現在（もしくは将来にわたって）心配していることは何かありますか？</p> <p>③家族との関わりの中で、今の中学生に考えてほしいこと・親として知ってほしいことは何かありますか？</p> <p>④今家族として、一番伝えたいことは何ですか？</p>	○プライバシーにかかわることもあるので、自分自身で考えるよう指導する。	ホワイトボード
	15	○4人グループで発表し合う。 ・家族のためにどんなことをしようと考えているか発表し合い、仲間の良い考えを付箋に書いて、自分自身の生活に活かしていけるようにする。 ・班で出た意見をホワイトボードにまとめる。		
	10	○自分自身の考えをまとめる。 仲間の考えを聞き、増やしていきたいことがあれば書くようにする。	○他者の意見を聞いて、自分自身の考えになかったものや取り入れられそうなものを参考にするように伝える。	
まとめ	5	○今まで学習したことを振り返り、これから家族のためにできることを考え、実践するための計画を立てていく。（生活の課題と実践）	○これからの家族とのかかわりを考えられるよう声かけをしていく。	

参考・引用文献

- ・「中学校学習指導要領解説 技術・家庭科編」 文部科学省（平成20年9月）
- ・「中学校学習指導要領解説 技術・家庭科編」 文部科学省（平成29年6月）
- ・「評価規準の作成評価方法等の工夫改善のための参考資料」国立教育政策研究所（平成23年11月）
- ・中央教育審議会答申「幼稚園，小学校，中学校，高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について」 文部科学省（平成28年12月21日）
- ・新学習指導要領の展開 技術・家庭 家庭分野編 明治図書
- ・山梨大学教育学部附属中学校研究紀要（平成28年度）